

生活を支える川

佐藤 司隆

○ぼくは川について調べました。一つ目は、じや口は川につながっていることです。川の
水は、いろいろな水場といっしぜつび水場のところ、
はいさんをとりのぞいてみると、家などに流っ
ている。

二つ目は、急に水が増えるということです。

上流の山地で雨がたくさんふると、水が増え

ます。遠くの上流で雨がふっていったらあまり
近づかないようにしましょう。

三つ目は、生きものです。川のそばには、

虫などのたくさん生物がくらしています。

それらを食えるカエルなどもいて、生き物

のつながりでできています。

四つ目は、川にしみずんできました。橋があるところ

いうことは、高知県の四万十川です。川の

水が増えると木などが倒れ、かかっています。それ

るというところがあります。それらを防ぐとい

うとく別なつくりをした橋があるといふこと
です。

五つ目は、川の水をあげたかたの工夫で
す。雨が強くふると、川の水があふれこう水
などになってしまふことがあります。そこで
水をさへぎるてい防壁、川におくほら水も
なともあります。

このように、あなたたちのみ道にある川は
このようにいろいろな工夫をしていて、ふだ
んのんでいる水も、そのようなくろうがある
のです。